

1 行政一般

| | タイトル | 意見等 |
|---|------------------|--|
| 1 | 県内公的施設ヒートポンプ導入 | ヒートポンプは熱エネルギーの変換で省電力化が期待できるシステムです。省エネルギー化に寄与するので民間の補助もありますが、いまから公的施設にも導入してみてはどうですか？地中に埋めるタイプの方が夏冬両方使えるので良いようです。 |
| 2 | 9月県議会資料（道路事故）を見て | 本年9月開催の県議会に関する資料を見ていて 気になる点があるので指摘しておきます。 1. 令和7年9月徳島県議会定例会議案 第19号 損害賠償（道路事故）の額の決定及び和解について（賠償金額6,856,000円） 2. 令和7年9月県土整備委員会説明資料（8）専決処分の報告について ア 損害賠償（道路事故）の額の決定及び和解に係る専決処分の報告について（賠償金額は13件合計で約5,280,000円）（他の委員会資料は未確認です） 以上の報告資料があるが 金額としては 他に事務処理上の費用も発生しているのではないか？ また こういう事態を引き起こした原因（人的要素、道路設備の異常や損傷など）が全く不明であるが 開示されないのか？かつ再発防止策はどうなのか？ といった点を明確にするべきではないか？ さらに 過去にも同様の事案はあったと思うが そのあたり（履歴、傾向など）も知りたい。 |

1 行政一般

| | タイトル | 意見等 |
|---|--------------------------------------|---|
| 3 | 徳島県による特定国優遇政策および教育現場への不当介入疑惑に関する厳重抗議 | <p>徳島県知事 後藤田正純 様 徳島県教育委員会 御中 拝啓</p> <p>最近の県政の動向に対し、県民として深刻な不信と危機感を抱き、以下の通り厳重に抗議いたします。</p> <p>■ 1. 修学旅行先に特定国（韓国）を強く促す行為について報道されているように、知事が高校生に「修学旅行は韓国へ」と促す発言を行った件は、教育現場の中立性を損なう重大な問題です。学校側は当然「県の意向」と受け取りかねず、教育判断に対する不当な影響を与えます。</p> <p>■ 2. 香港便赤字補填の不透明さ</p> <p>県が香港便の赤字を補填しながら、具体的な金額や契約内容を明らかにしないのは、公金の使途として到底許容できません。説明責任を果たさないまま特定路線を優遇する姿勢は、県民の信頼を損ないます。</p> <p>■ 3. 【重要】なぜ徳島県は特定の国（韓国・中国）との提携・支援を優先するのか修学旅行の韓国推奨、香港便への公金補填という一連の流れを見ると、徳島県がなぜこれほどまでに特定の外国（主に韓国・中国）との関係を優先しようとしているのか、政策的な合理性が全く見えません。</p> <p>県民に対し、以下を明確に説明すべきです。 特定国を優先する理由・根拠</p> <p>その政策が徳島県民全体にどのような利益をもたらすのか国内の教育・観光・産業振興よりも海外施策を優先する理由リスク評価や費用対効果の検証結果「なぜ県民の理解を得ないまま特定国との関係だけ突出して強化しているのか」この疑問に対し、県は一切説明していません。</p> <p>■ 4. 県政の透明性欠如と独断的な施策運用への強い懸念</p> <p>教育現場への干渉疑惑、海外路線支援の不透明性、特定国との過度な連携—これらは「県民不在の政策決定」が常態化しつつあるのではないかという重大な不信を招きます。</p> <p>◆強く要求する項目</p> <p>知事発言の経緯・意図・内容を、公式に明らかにすること 修学旅行の行き先選定への行政的関与を排し、中立性を明確に担保すること 香港便赤字補填について、金額・契約内容・費用対効果を完全公開すること 特定国（韓国・中国）に偏った施策を行う政策的理由を、県民に対して説明すること 県政運営における透明性の確保と、県民への説明責任の徹底 県民が理解できないまま海外施策を優先するような県政運営は看過できません。 誠実かつ具体的な説明と改善を強く求めます。 敬具</p> |

1 行政一般

| | タイトル | 意見等 |
|---|----------------|--|
| 4 | 四国四県の獣医師会からの要望 | ○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島大学に獣医学部共同獣医学課程又は徳島大生物資源産業学部に共同獣医学科を開設して、高度人材たる獣医師の人材育成を行われなければならない。 ※ 北海道大学獣医学部共同獣医学課程、鳥取県農学部共同獣医学科など |
| 5 | コンプライアンス対策について | 1年で元職員（県議）も含め盗撮で3人が逮捕されるというのは異常事態です。われわれが不祥事を起こした際は鬼の首を取ったように、こんな再発防止策では実効性がないとケチをつけるくせに、自分たちは全く機能していない「再発防止策」を策定し、再発してもなんら反省もなく、記者会見してのど元過ぎればの感覚が許せません。監督機関は、相手より一段レベルが高い意識や能力が求められるのに、この職員の気質か職場風土なのかわかりませんが、2年間くらい国から監督権限の停止命令を発出してほしいくらいです。物事の本質がつかめていないから、再発が生じるので。県のコンプライアンス担当者には、要因をしっかりとつきとめ、それを除去するためには何が必要かを全庁横断的に真剣に議論していただきたい。いくら優秀でも、人間性が伴わなければ言葉に説得力をもちません。猛省を求めます |